

所 属 赤碕町漁業協同組合

氏 名 あかさきちょうぎょきょうじょせいぶ
赤 碕 町 漁 協 女 性 部



～新しいことに挑戦したい～

赤碕町漁協女性部は、漁協が経営する道の駅琴の浦の名物レストラン「赤碕亭」で地ものの魚を使った料理を提供する傍ら、地域で魚料理教室を開いたり、イベント等で販売するさざえご飯を作ったりするなど幅広く活動している。女性部の作るサザエご飯は大好評で、10升炊いてもすぐに完売してしまう程の人気商品だ。

女性部は平均年齢 60 代で、漁師の奥さんや漁協の職員からなる総勢 23 名。この方々、めっぽう明るくおしゃべりが大好き。取材の最中も本筋を脱線し、女子会ごとくわいわい、がやがやと話が飛ぶ飛ぶ。そして「女性部のお店が作りたいなあ、誰もやった事ことのないようなお店がやれたらなあ～」と、夢が大きく膨らんでいく。とにかく聞いているだけで楽しく、元気が一杯もらえそうな雰囲気なのだ。最終的にひとまず来年は「お料理教室に使う鍋やコンロを新調しよう！」と実直な夢の実現に向かうことに。赤碕の新鮮な魚を多くの人に食べて欲しい気持ちがあふれている。

県中部の漁業の中核をなす赤碕町漁協のエネルギーの源は、このユーモアと頼もしさを兼ね備えた赤碕の女性軍の底力あってこそだろう。もっともっと活躍して浜を盛り上げて欲しい。

～女性ならではの鋭い観察眼！～

女性部長の祇園洋子さん曰く、道の駅琴の浦のレストラン「赤碕亭」でその日一番にチケットを購入する人が女性だったら、その日は客の入りが多くなるのだとか。お客さんが2割くらい増えるの～と楽しそうに語る。女性ならではの鋭い視点ですね、目の付け所が違います。

(文責：安養寺 由佳、丹下 菜穂子)